

ICTでつくる「輝き あんしん プラチナ社会」

10年後のやまなし

交通 山間部と町を無人で送迎

民間事業者による自動走行タクシーが、山間部と町の中心部を無人でつなぎ、誰でも自由に外出できます。

福祉 生活サポートの見守りロボット

AIを内蔵した見守りロボットが、自治体の保健師などにつながり、健康維持の支援を行うなど、住み慣れた家での生活をサポートします。介護支援のためのロボットスーツも普及しています。

製造業 新技術でつながる生産拠点

IoTにより、工場内の設備がつながり連動することで、多品種生産に柔軟に対応できます。さらに、海外を含めた取引先とリアルタイムでやりとりしながら、設備を最大限活用した生産を行います。

観光 いつでも多言語通訳

観光地などの施設運営者が多言語同時通訳観光ロボットを設置し、通訳観光ロボットが、多様な外国人観光客にその時にもっとも旬なやまなしを多言語で紹介します。

農業 高品質・新品種

生産者が設置したセンサから収集するデータの活用により農場のきめ細やかな管理ができ、高品質な農作物の生産や、今まで生産が難しかった新品種の導入が可能になっています。



2016年の現在

「ぶどう園のセンサ」

「自動運転技術」

「工場内の製造ライン」

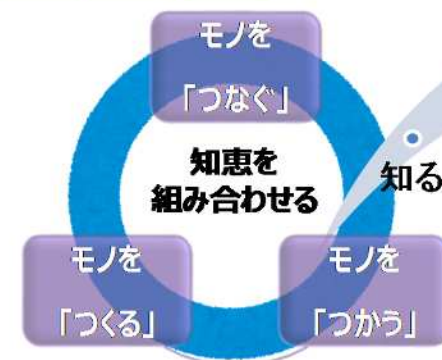
「見守りロボット」

「多言語音声翻訳サービス」

ICT利活用の可能性

イノベーション

新	し	い	
ビ	ジ	ネ	ス
産	業	の	
創	出		



活用する 知恵を磨く
導入する

モノを「つなぐ」：様々なモノをつなぎ、情報を収集、分析
モノを「つくる」：新しい役割、機能を持つモノをつくり、供給
モノを「つかう」：新しい技術、モノを最良の方法で活用

各主体が積極的に「知る」「導入する」「活用する」を進めていくことが重要